

「熊本県デジタル化推進計画（案）」に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
<b>2 快適・安全な生活環境の実現に向けたデジタルの活用</b>			
<b>(2) 防災・災害対策</b>			
<b>②避難の円滑化</b>			
1	県や自治体による情報伝達力の強化・防災情報の充実化などを行うとともに、日ごろより県民が被災時に情報にアクセスできる県の取組みに対する周知等、県民側の環境整備も同時に実施することが重要と思料いたします。	<p>(24頁) 「(2) 防災・災害対策」「②避難の円滑化」に以下のとおり記載しています。</p> <p>「・ハザードマップや河川監視カメラ画像の更新や追加を適宜行うなど、防災情報を充実、拡大させます。」</p> <p>「・SNS発信など県が発信する防災情報の伝達手段の多重化を行い、複数の手段で県民が避難情報などの防災情報を収集できるようスマート防災を推進します。」</p> <p>今回いただいた御意見も踏まえ、スマート防災に取り組む中で県民への周知等を強化し、環境整備を図って参ります。</p>	記載済
<b>3 施策の前提となる県の取組み</b>			
<b>(1) デジタル環境の整備</b>			
<b>③セキュリティの確保</b>			
2	セキュリティを強化しても、インシデントの発生可能性を皆無にすることは困難であることから、インシデント発生時の体制構築、必要性の周知も重要と思料いたします。	<p>(32頁) 「(1) デジタル環境の整備」「③セキュリティの確保」に、以下のとおり追記いたしました。</p> <p>「くまもとDX推進コンソーシアム」会員企業に対し、セルフチェック等を活用した現状把握や対策強化の検討を促し、セキュリティ対策やインシデント発生に備えた体制構築の必要性の理解、取組率の向上に努めます。」</p>	反映
<b>(2) デジタル化に係る理解向上</b>			
<b>②県職員のDX理解の向上</b>			
3	県行政におけるDX推進には、職員のマインドセットが重要かと存じます。従前の業務踏襲型から、現状とあるべき姿のギャップ（問題）を定義して解決策を検討・実行する課題解決型へのシフトが求められている中で、職員の人材育成は、もう少し踏み込んだ具体的な記載をいただけたらと思料いたします。	<p>(34頁) 「(2) デジタル化に係る理解向上」「②県職員のDX理解の向上」に、以下のとおり追記いたしました。</p> <p>「県行政におけるDXの推進には、新たな課題、多様化する県民ニーズに対応できる職員の能力や意欲、さらには組織としての対応力が不可欠です。このため、デジタル化の取組みの中核を担う職員（DX推進リーダー）の育成や、必要なマインド及びスキルを習得するための基礎研修の実施など、県職員のDXへの理解の向上とともに、デジタルを活用して課題解決や業務効率化を行える人材の育成に取り組めます。」</p>	反映